

令和2年度 宮井小学校 学校経営方針

1. 本校の教育目標

人権を尊重し、一人一人の可能性を見つめ、主体的・対話的な活動を通して考え、行動し、たくましく生きる力をもつ児童の育成。

□めざす児童像 ○自ら学ぶ子 ○思いやりのある子 ○たくましい子

□めざす教職員像 ①心身共に健康な教職員
②自分の姿で児童を指導できる教職員
③児童・保護者・地域に信頼される教職員

□合い言葉 (み)んなの(や)る気で(い)い学校 (み)んな(や)さしい(い)い学校

2. 本年度の経営方針

- ①分かる喜び、できる喜びをつかみ、確かな学力を身に付ける学習を創造する。
- ②豊かな心や人間性の育成をめざした道徳教育・人権教育の推進を図る。
- ③生命を大切にし、たくましい児童を育てる健康・安全教育の徹底を図る。
- ④自ら「生きる力」を伸ばす生徒指導の充実に努める。
- ⑤一人一人のニーズに応じた特別支援教育の推進を図る。
- ⑥地域のよさに学び、人間的ふれあいを大切にした開かれた学校づくりに努める。
- ⑦校内研修や行事等を見直し、児童と向き合える時間の確保に努める。
- ⑧教職員の業務改善を図り、教職員が心身共に健康な状態で児童の教育に当たるようにする。

3. 重点目標と具体策

(1)確かな学力の定着

- ①児童が主体的に取り組む授業、自分の考えを伝え合う授業の実現をめざす。
- ②言語活動を充実させ、学校教育全体を通して、書く・話す活動の充実に努める。
- ③読書活動を通して、読書意欲を喚起し、想像力や語彙力・表現力を高める。
- ④家庭学習の手引き等を活用し、家庭と連携して家庭学習の充実に努める。
- ⑤英語活動の指導方法を工夫し、進んで学ぶ意欲に満ちた授業の実現をめざす。

(2)特別支援教育の推進

- ①特別支援教育コーディネーターを核に研修を充実し、特別支援教育の正しい理解を図る。
- ②児童一人一人の実態を把握し、教育支援委員会による適正な就学指導を実施する。
- ③障がいのある児童との交流の充実に努め、支え合える集団づくりに努める。

(3)道徳教育と人権教育の充実

- ①豊かな心や人間性をめざす道徳教育と人権教育を推進し、自他を大切にする心を育成する。
- ②人権教育の啓発と推進を図り、日常生活の中で小さな人権問題を見逃さない鋭い感性を養う。
- ③体験活動を通して道徳教育や人権教育で学んだことを実践できるような力を育成する。

(4)環境教育と健康安全教育の推進

- ①感染症から命や身を守る基本的対策や抵抗力を高める取組の力を児童自らが育成できるようにする。
- ②楽しく意欲的に体力や運動能力の向上を図ることのできる体育的活動の充実に努める。
- ③心の健康をテーマとした学校保健委員会の充実に努める。
- ④体力や健康の向上のため「あるこうデー」を学校と家庭が一体となって意識化して取り組む。

(5)生徒指導の充実

- ①児童理解に努め、生き生きとした楽しい学級をつくり、自尊感情を育てる。
- ②全教職員の共通理解をもとにして、児童一人一人の実態の把握に努める。
- ③児童と共に活動する直接指導により、信頼関係の中で教師自身の感化力を高める。

(6)家庭・地域との連携の充実

- ①地域の人的・物的教育的資源を積極的に活用し、地域に親しみをもつとともに深い学びを実現する。
- ②学校だより、ホームページ、PTA活動等により家庭・学校・地域との連携を強化する。

(7)教職員の資質向上

- ①児童が自ら主体的に取り組む、自分の考えを伝え合う授業の実現をめざして研修を進める。
- ②ICTを活用した教育を推進し、児童の興味、関心を高める授業実践を推進する。